令和6年度 第2回伊勢原市地域公共交通協議会 会議録

〔事務局〕 都市政策課

〔開催日時〕 令和7年2月13日(木) 午後2時00分から午後3時00分まで

〔開催場所〕 伊勢原市役所3階 全員協議会室

〔出席者〕

(委員) 藤井会長、大島副会長、小堤委員、佐藤委員、金子委員、樋口委員、宮原委員、松田委員、滝口委員(代理出席)、霍田委員、福永委員、市川委員、森下委員、中津川委員(代理出席)、吉野委員、石井委員
(欠席：高橋委員、佐伯委員、宿谷委員、菊本委員)

(事務局) 吉田都市部長、大園都市政策課長、脇坂都市計画係長、ほか1名

〔公開の可否〕 公開

〔傍聴者〕 0名

《審議の経過》

1 開 会

2 あいさつ

3 委 嘱

4 議 事

議案第1号 令和6年度事業報告について

議案第2号 伊勢原市地域公共交通計画の進行管理について

5 その他

6 閉 会

《議事》

<p>会 長</p>	<p>それでは、次第に従い、議事を進めます。</p> <p>本日の議題は、</p> <p>第1号議案 令和6年度事業報告について</p> <p>第2号議案 伊勢原市地域公共交通計画の進行管理についての2点となっています。</p> <p>事務局から内容の説明を行い、その後、委員の皆様のお意見等をお聴きしていきたいと存じますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、議案第1号 令和6年度事業報告について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>【説明】</p>
<p>会 長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>非常に幅広い分野での事業が進んでいること、公共交通空白地区においては市民の方の声を聞いて調査を順次進めているとの報告もありました。</p> <p>委員の皆様から、御質問、御意見等ありましたらお願いします。</p>
<p>委 員</p>	<p>乗務員不足の対応について、御協力いただきありがとうございます。</p> <p>乗務員不足はバス業界の最大の課題であり、バス事業者では、一昨年に四半世紀ぶりに運賃の値上げを行い、それを原資に、乗務員への待遇改善を行ったり、学校訪問や募集説明会等、様々な対応策を実施していますが、即効性のある対応はできていない状況です。</p> <p>限られた供給量で多くの人たちを運ぶためには、輸送の効率化が必要となります。具体的には、接続バスや完全キャッシュレスバスの運行が挙げられます。また、走行環境の改善ということであれば、バス専用レーンや優先レーン、PTPS（公共車両優先システム）の導入等も考えられます。</p> <p>繰り返しになりますが、限られた人材でより多くの方々が運べるように、引き続き、御理解御協力をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>バスについては、市の公共交通の一番の基本であると考えています。新しいバスのシステム等については、施策8のスマートモビリティ社会への対応の中で、自動運転や接続バス等について検討を進めているところになります。</p>
<p>会 長</p>	<p>現状の厳しい状況を打破するために、様々な手段があると考えます。接続バス等を運行する場合には、伊勢原駅の北口のロータリー等が、これからの検討事項になってくると考えます。初期段階から計画に組み込むことで、具体性を持って交通幹線軸の検討につながると考えます。</p> <p>柏市では、PTPSを導入し、柏駅から柏の葉駅を縦に繋ぐ形で運行していました。しかし、運行していた道路が片側1車線であったことなどから、うまく活用できずに事業をやめてしまった事例もあるため、効果的な仕組みではあるが、導入する場所や時間帯など、様々な条件を考慮した上</p>

	<p>で導入する必要があります。</p> <p>限られた予算のなかではあると思いますが、補助金等を活用して、どう いう運用ができるのか、事務局で知恵を絞ってほしいと思います。</p>
委 員	<p>福祉部局との連携した取組の検討の中で、庁内での情報共有を図られて いるとのことですが、具体的に意見交換という形での情報共有なのか、意 見交換してその先の展望まで行っているのか、どういう形での情報共有 を行っているのか教えてください。</p>
事 務 局	<p>福祉施策との連携については、今年度から始めたことで、まずは、定期 的に公共交通部局と福祉部局とで、それぞれの事業について共有を行って いるところです。各部局での事業について、ある程度の棲み分けを行いつ つ、双方で連携して具体的な事業について検討していきたいと考えていま す。</p>
会 長	<p>福祉との連携はとても重要なことです。</p> <p>千葉県の手代市では、公共交通計画を作成し、バス停から 500m以上離 れた地域の高齢者・独居老人・老老世帯を対象に、タクシーチケットの配 布を行っていました。その中で、市民から、もっと使いやすくしてほしい との要望があり、それを受けて、長寿支援課が、公共交通会議を経ずに、 タクシーチケットの配布対象者を「市全域」の「要介護・要支援者」にする ことを、市議会で決定してしまいました。これにより、バス停から 500m以 上離れた地域の健康な方たちが利用できなくなってしまい、継続的な公共 交通としての取組ができなくなるということで、大きな問題になりました。</p> <p>この問題は、公共交通部局と福祉部局との連携ができていなかったこと が原因であると考えられるので、両部局で押しつけ合うのではなく、意見 交換等を通じて丁寧に連携して行ってほしいと思います。</p>
会 長	<p>他の自治体と比較すると、伊勢原市の公共交通施策はとても丁寧にアプ ローチしているように思います。</p> <p>公共交通空白地区等について、市民の意見を聞いて、地域交通のあり方 を検討していくとされています。これは、昨年度作成した地区別カルテを もとに行っています。どこの自治体でも地区別カルテを作るところまでは やるが、使いこなしている自治体はほとんどありません。</p> <p>国交省では、公共交通の取組として「3つの共創」が言われており、地 域交通を検討していく中で、様々な主体が関わっていくことが重要と言わ れています。他の自治体では、地域の主体がなかなか関わるのが難しい という声がある中、地域の声丁寧に聞いていただけていると思います。</p> <p>予算が少ない自治体が多い中、民間企業から公共交通のモデル事業の売 り込みによって、地域に交通モードを導入している自治体もあります。そ のような自治体では、地域の声聞かずに実証実験等を実施し、結果とし て、市民のニーズに合わずに、事業が続かないということが、多くの自治</p>

	<p>体で散見されています。</p> <p>伊勢原市では、しっかりと地域の声を聞いていただけるとのことですが、意見を聞きすぎると、逆につらくなることもあります。しかし、こういう困りごとがあるんだと聞かないことには、対応もできないと思います。今年度中に、残りの地区についても対話を進めるということで、ぜひ、民間の売り込みに負けずに、地域ニーズにあった事業を展開できる体制を整えてほしいと思います。</p>
会 長	<p>その他、御意見等がありますか。</p> <p>無いようですので、続きまして、議案第2号 地域公共交通計画の進捗管理について、事務局から説明をお願いします。</p>
事 務 局	【説明】
会 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>8つの施策について、事業評価を実施し、次年度の取組方針について取りまとめたとの説明でした。</p> <p>このことについて、委員の皆様から御意見等ありますか。</p>
委 員	<p>施策3の実施計画について、ノンステップバス9台およびユニバーサルデザインタクシー3台の導入が予定されていることが実施計画となっておりますが、その場合、次年度の取組として具体的な台数は掲載しないのでしょうか。</p>
事 務 局	<p>施策3の交通事業者の導入台数については、第1回協議会で各交通事業者の導入計画を確認し、その台数を実施計画として掲載しています。そのため、現時点で、次年度の実施計画に具体的な台数は掲載していません。</p>
会 長	<p>その他、御意見等がありますか。</p> <p>では、議題について終了します。</p> <p>次に、次第の5 その他について、何かありますか。</p>
委 員	<p>神奈川中央交通株式会社から、お配りしている3点の資料について、御説明いたします。</p> <p>資料1枚目は、バス路線の廃止の検討についてです。</p> <p>先ほど、バス運転士の不足について説明がありましたが、ギリギリの状態でも路線を維持しています。その中で、バス路線を維持していくためには、効率的に、利用者の多い地域はしっかりとバスを運行し、利用者が少ない地域はバス以外の交通モードによって移動手段を確保していく必要があります。</p> <p>そこで、伊勢原駅北口～善波路線について、路線の廃止を検討しています。</p> <p>伊勢原駅北口～坪ノ内は、他の路線と重複しており、笠谷戸～善波の3停留所については単独路線となっております。</p> <p>1日3往復の運行をしていますが、笠谷戸～善波の利用実態は、11月</p>

	<p>1か月の平均利用者が、伊勢原駅発が15時50分発の1名のみ、伊勢原駅行が7時50分発の2名と15時34分発の1名となっています。</p> <p>このことから、本路線について、路線の廃止を前提に市と協議を行っています。協議が調いましたら、本協議会に議案として提出させていただきたいと思います。</p>
会 長	<p>この路線を廃止すると公共交通空白地区等が拡大することになると思います。事務局としては、地区の見直しが必要になるのではないのでしょうか。</p>
事 務 局	<p>この路線について、利用者が少ないことについては事務局でも確認しています。その中で、7時50分の笠谷戸バス停の2名の利用は、比々多小学校に通う小学生が利用しています。</p> <p>路線の廃止によって、笠谷戸バス停が利用できなくなり、小学生の登下校に影響が考えられます。今年の8月末に豪雨によって善波トンネルが崩れた際に、笠谷戸以西のバス停が利用できなくなっていました。その中で、小学生2名は坪ノ内バス停からバスを利用して登下校していたと聞いています。</p> <p>市教育委員会と情報共有を行っていますが、今後、笠谷戸以西のバス停が利用できなくなった場合の代替手段については、坪ノ内バス停から伊勢原駅北口～鶴巻温泉駅便を利用してもらうことが考えられます。その場合には、登下校の時間にうまく利用できるのか、ダイヤの調整等が必要になってきます。</p> <p>引き続き、神奈川中央交通株式会社と協議・調整していきたいと考えています。</p>
会 長	<p>このことについて、御意見等ありますか。</p> <p>事務局と調整を行っているということですので、その状況下が調いましたら、御提案をしていただくということです。</p> <p>この内容については、小学生が関係しているということから、今までは高齢者等の移動に注目しがちでしたが、通学という視点が新たに出てきたということで、丁寧に打合せを進めていただきたく思いますので、よろしくをお願いします。</p>
委 員	<p>あと2点、資料について説明いたします。</p> <p>1点が、かなちゃん手形の制度変更およびICカード化についてです。</p> <p>かなちゃん手形は、年4回の販売期間を設けて販売していますが、令和7年3月10日からICカード化を図ってまいります。今までのかなちゃん手形は、1乗車につき100円を乗車時に支払っていただいていたのですが、この1乗車の運賃を元々の購入費に組み込み、定期券のように利用する制度です。</p> <p>そのため、販売金額は値上げしておりますが、1乗車100円の支払いが不要となり、期間内が乗り放題となる制度となっています。</p>

	<p>紙製のかなちゃん手形については、令和7年6月21日～令和7年8月31日の販売期間までは購入可能となっています。</p> <p>またICカードについては、販売期間は設けず、いつでも購入可能であり、有効期間は初回利用時から決められた期間となります。</p> <p>もう1点、完全キャッシュレスバスの実証運行についてです。</p> <p>実証運行は既に終了していますが、平塚市で実施したものになります。</p> <p>速達性の確保に向けた取組として実施しました。また、運賃収受について自動で行うことで運転士のストレス軽減や、運転業務に集中してもらうことも狙っています。かなちゃん手形のICカード化についても、このような背景もあることから、御理解いただければと思います。</p> <p>通常の運行にあたって、現金で乗車している人は全体の1割弱となっており、その大半がかなちゃん手形利用者となっています。そのため、かなちゃん手形のICカード化によってキャッシュレス化がより前進し、運転士の業務負荷が減少することや、運賃箱の代替費用の削減につながります。</p> <p>運転士の待遇改善や運転士の採用数を増やすには、様々なところの費用圧縮を行い、事業継続性を確保していく必要があるため、キャッシュレスバスについて、実証エリアを拡大しながら進めていきたいと思っておりますので、伊勢原市で行う際には御協力をお願いします。</p>	
会	長	<p>このことについて、御意見等ありますか</p> <p>このような取組が広がってきている中で、利用者も協力していく必要がありますので、よろしくお願いします。</p>
会	長	<p>その他、委員の皆様から何かありますか。特になしということでしょうか。</p> <p>では、進行を事務局へお返ししたいと思います。皆様の御協力で議事進行を円滑に進めることができました。ありがとうございました。</p>
閉	会	